

国際シンポジウム「東アジア共生会議」(第2回東アジア共同体会議)

日時：7月12日(土曜日) 9:30~18:45

会場：東京大学駒場キャンパス18号館ホール(京王井の頭線 駒場東大前下車)

日時：7月13日(日曜日) 9:30~13:45

会場：青山学院大学国際会議場(メトロ地下鉄 表参道下車)

参加費：無料、ただし資料代1,000円

7月12日(土曜日) 国際シンポジウムⅠ 場所：東大駒場キャンパス18号館ホール
総合主題Ⅰ「日中関係をどう打開するか—東アジア安全保障メカニズム構築への道—」
総合司会：林敏潔(南京師範大学特任教授)

開会挨拶

主催機関挨拶[9:30~9:45]

平川 均(学会理事長、名古屋大学名誉教授、国土舘大学教授)

杜 進(日本華人教授会議代表)

平林 博(東アジア共同体評議会議長、元駐仏大使)

海外来賓挨拶[9:45~10:10]

駐日インドネシア大使ユスロン・イーザ殿下「アセアン共同体と日本の役割」

第1部 「日中関係の現在とアジアの未来」

司会：大西 広(慶応大学教授、学会副理事長、日本中国友好協会常務理事)

中川十郎(日本ビジネスインテリジェンス協会理事長、学会副理事長)

基調講演(1)[10:15~10:45]

宮本雄二(元中国大使、宮本アジア研究所代表)「河野談話、村山談話から日中戦
略的互惠関係の再構築へ」

コメンテーター [10:45~11:30]

姜 克実(岡山大学教授)「中国側からみた領土歴史問題と日中関係」

高橋五郎(愛知大学国際中国学研究センター所長)「日中協力の新しい可能性—
食料生産協力メカニズムの構築へ向けて」

記念講演(1)[11:30~12:00]

鳩山友紀夫元首相(一般財団法人東アジア共同体研究所理事長、学会名誉顧問)
「日中共生の道をどうつくるか」

昼食 12:00～13:00

第2部 「台頭する中国をどうとらえるか—アジア地域統合と日中協力の道—」

基調講演(2) [13:00～14:40]

司会：村田雄二郎(東京大学教授)

ベイツ・ギル(ブルッキングズ研究所初代北東アジア研究センター長) 「中国新
戦略外交と東アジア安全保障メカニズムをどう構築するか」

朱 鋒(北京大学教授) 「日中関係とアジア地域統合への道」

基調講演(3) [14:40～16:15]

司会：山田辰雄(慶応大学名誉教授、日中関係を考える研究者の会副代表)

朱 建榮(東洋学園大学教授、日本華人教授会議創設代表) 「習近平時代の中国
外交とアジア地域協力の道：日中の相互理解と相互信頼が鍵」

交渉中

休憩 16:15～16:30

パネル討論

司会：天見 慧(早稲田大学中国研究所長・学会評議員)

パネル報告[16:30～16:45]

権 鎬淵(法政大学教授)「韓国から見た日中関係と東アジア」

パネルディスカッション[16:45～18:35]

ベイツ・ギル、朱 鋒、朱 建榮、権 鎬淵、五十川倫義(朝日新聞中文網編集長)

閉会挨拶 [18:35～18:45]

進藤榮一(国際アジア共同体学会会長、筑波大学名誉教授)

研究交流懇親会 [19:00～21:00]

会場：東大駒場キャンパス18号館4階オープンスペース

主催機関特別挨拶

西原春夫(早稲田大学元総長、学会特別顧問)

加々美光行(愛知大学国際中国学研究センター初代所長、学会理事)

朱建榮先生帰還御歓迎

7月13日(日曜日) 国際シンポジウムⅡ 場所：青山学院大学国際会議場
総合主題Ⅱ 「転換期の日本へ；パクス・アメリカーナかパクス・アジアーナか <領土歴史問題を超えて>」

司会；羽場久美子（青山学院大学教授）

第1部；問題提起Ⅰ[9：30～10：30]

「東アジア安全保障メカニズムをつくる」

アンドレイ・ペロフ(福井県立大学教授)、「北東アジアの経済協力とロシア極東地域の意義」

朱鋒（北京大学教授）

ベイツ・ギル（ブルッキングズ研究所初代北東アジア研究センター長）

第2部；問題提起Ⅱ[10：30～11：20]

矢吹 晋（横浜市立大学名誉教授）「領土歴史問題を超える道」

杜 進（拓殖大学教授）「ツキジデスの畏を超える道」

休憩[11：20～11：30]

司会；交渉中

第3部；パネル討論Ⅰ[11：30～12：50]

「アジア地域共生をどうつくるか」

岡田 充（共同通信）＋大西広＋中川十郎＋平川均

第4部；総括コメント[12：50～13：20]

朱鋒＋ベイツ・ギル＋羽場久美子＋交渉中

総括[13：30～13：45]

谷口 誠（元国連特命全権大使、学会顧問）

懇親交流会[14：00～16：00]

主催機関： 国際アジア共同体学会、青山学院大学

共催機関： 日本華人教授会議

協 賛： 一般財団法人ワンアジア財団、柏書房、

助成機関： 社団法人東京倶楽部

後 援： 朝日新聞社、日本中国友好協会、愛知大学国際中国学研究センター

早稲田大学中国研究所、東アジア共同体評議会、公益財団法人日本国際フォーラム